

編集後記

久しぶりに学会に現地参加しました。やはり、リアルな学会では加工されていない生の情報+ が得られ、非常に役に立ちました。今後も、現地参加できることを祈るばかりです。

誌上ギャラリーは、天辰健二先生から、「おれんじ鉄道沿線の鹿の子百合」を頂きました。

論説と話題は、上ノ町 仁鹿児島市医師会会長、池田耕治、長友医継両副会長をはじめ、今回鹿児島市医師会の役員に就任された方々と退任される先生方のご挨拶です。就任される先生方にはこれからの2年間、医師会の発展のために頑張ってもらいたいと思います。また、役員を退任される先生方には、これまでのご尽力に対し心からお礼を申し上げたいと思います。本当にお疲れ様でした。

学術は1題です。鹿児島市立病院消化器外科から、臍頭十二指腸切除術においてERASパスの導入は、周術期管理の効率化による安全性の向上と在院日数短縮化に寄与する可能性があるというご報告を頂きました。貴重なご報告ありがとうございます。

医師会病院だよりは診療支援部栄養管理室の紹介です。栄養管理室の現状と今後の診療報酬改定に向けての取組についてご紹介頂きました。会員の先生方には、引き続き患者さんのご紹介をよろしくお願い致します。

随筆・その他は、古庄弘典先生から、切手が語る医学「がん撲滅・乳児・赤十字・医療センター」を、栗博志先生からは「フランツ・リストと聖エリザベート - 第1部、フランツ・リスト、その9 - 」を頂きました。

リレー随筆は、県立大島病院の山田直樹先生からご寄稿頂きました。学生時代にハマったカメラについて、これから写真を撮ろうとする人へのアドバイスを含め、一眼レフの魅力を存分に教えて頂きました。現在自然豊かな奄美大島で写真を撮っておられるとのことで、今後ぜひ鹿児島市医報の誌上ギャラリーなどで力作を見せて頂きたいと思います。

各種部会だよりは、令和4年度鹿児島市内科医会総会・特別講演会を濱崎秀一先生からご報告頂きました。鹿児島大学心臓血管・高血圧内科の大石充教授による「心不全ステージA&Bの治療：降圧療法をどう考えるか？」は、心不全の予防とその対策とくに降圧療法について詳しく述べられています。会員の先生方は是非ご一読頂きますようお願い致します。他に第1回鹿児島市在宅医会事例検討会、令和4年度鹿児島市外科医会総会の報告がありました。

各種報告は、理事会の概要、医報編集委員会より報告がありました。附属施設だよりは、鹿児島市医師会病院や検査センター収支実績、検査実績の報告です。今後とも、皆様のさらなるご紹介・ご利用をお願い申し上げます。

鹿市医郷壇の題吟は「日傘（ひがさ）」です。ご寄稿いただいた先生方、ありがとうございました。初めての先生方もどうぞ奮ってご寄稿下さい。

コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、円安、物価高など、世の中暗いニュースばかりですが、こんな時こそ前向きな気持ちで、今日の前の事に打ち込んでいきたいものです。

(副編集委員長 佐藤 大輔)